

会報

第48号

CONTENTS

- 1 会長挨拶
- 学長挨拶
- 2 理事長挨拶
- 3 2011年度 活動報告
- 5 2012年度 活動情報
- 6 美しく生きる
- 7 学生支援事業
- 9 支部だより
- 11 総会報告
- 13 同窓会より
- 14 大学のページ
- 15 ホームカミングデー



会長就任のご挨拶

ノートルダム清心女子大学同窓会 会長 **横溝洋子**



この度同窓会会長に任ぜられました二十六期英文文学科卒業の横溝洋子でございます。同窓会のためにご尽力くださった西室前会長の後を引き継ぐことになり、重責を深く感じておりますが、「神様は善い方で、決して私達の力に余る試練はお与えにならない」と学生時代に学んだお言葉を胸に、全力を尽くす所存でございます。

同窓生相互の親睦及び援助に務め、母校の発展に協力し、社会福祉に寄与することを目的として活動してまいりたいと思います。

私はここ数年、理事として同窓会活動に参加させて頂いており、年の隔たりなく共に行動することの喜びを実感いたしております。時代を越えた先輩、後輩と

の出会いの場として、共に学んだ仲間との再会の場として、皆様に同窓会を活用して頂けたらと思います。お近くの方は、文化講座、ボランティア活動、手作り会（フリージアの会）等に同窓会館へおこしください。また遠くにお住まいの方は、支部総会にご出席ください。そこでは楽しく有意義な時間をお持ち頂けると思います。

私はかねてより、自分の人格の根幹は学生時代に形成されたと考えております。素晴らしい諸先生や友人に囲まれ、豊かで恵まれた四年間を通して、大学は私達の人格の基となる大切なものを与えてくださいました。その母校への感謝の気持ちを込めて、私達同窓会は心を尽くしていかなければなりません。同窓会の活動がその一助となれば幸いです。同窓会の発展には何よりも皆様のお力が必要で、ご支援・ご協力・ご参加をお待ちいたしております。

微力ではございますが、母校にご恩返しができたかと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

み取れる思想についてご紹介していきたいと思っております。

マザーの文書は、書簡と覚書に限られています。まずその原文ならびに写本の保管場所について述べていきます。原文ならびに写本はベルギーの当修道会母院のナミュール文書・資料室、イタリアの当会本部のローマ文書・資料室、そしてアメリカ合衆国では当会発祥の地シンシナティ文書・資料室に保管されています。ナミュール文書・資料室は現在判明している書簡四五四通

スコットなどの著名な研究者の手でジュリーの書簡の研究が進められ、ジュリーの生涯と思想を知るために新たな光が与えられました。しかしながら、これらの研究はジュリーの思想を第二ヴァチカン公会議後の宗教的刷新に適用することを差し控えたものとなっております。

そこで今後はジュリーの書簡から読み取れる思想を第二ヴァチカン公会議（一九六二―一九六五）の精神との関連で考察していきたいのです。ここで第二ヴァチカン公会議の精神に従って次の二つの事柄を挙げておきたいと思っております。すなわち、まず第一にそれぞれ

ちが入学し、卒業していつてくれます。

しかしながら、十八才人口を見てみると、二十年前二百万人だったのが、今や六十パーセントの百二十万人になっていて、この減少傾向は、今後も続くと考えられます。一方、四十才以上の人たち、しかも学習意欲を持つ人たちの数は増加しています。

そこで、ノートルダム清心女子大学は、平成二十五年から、社会人教育の場をオープンして、この状況に対応し、社会のニードに 대응するようにという、創立者マザー・ジュリーの志に添いたいと考えています。

旧学寮は老朽化したこともあって、一昨年解体しました。その跡地の利用について、理事会、評議員会に諮り、また、大学内の意向も踏まえて、平成二十四年度に着工して、新しい建物を建築いたします。

あらたな一歩を

― 退任にあたって

ノートルダム清心女子大学同窓会 前会長 **西室典子**



社団法人教育振興ノートルダム清心会は、平成二十三年十一月十四日、すべての清算業務を終了し、岡山県教育委員会に「清算終了届」を提出いたしました。名実ともにその歴史に幕を下ろしました。

清心会の設立・運営にかかわってこられた方々には、それぞれ様々な思いがおりになることと存じます。しかしながら、平成二十年十二月に国の公

の全写本を所蔵しており、写本は年代順に一連の文集に収められています。原文は第二次世界大戦の初期にほとんどのものを焼失しており、書簡八八（一八〇八年十二月六日、発信地アミアン、シスター・ユレリー・アエ）の断片のみが保管されています。シンシナティ文書・資料室にはジュリーの自筆の書簡二六七（一八二三年八月二十一日、発信地ナミュール、シスター・サン・ジャン・アエ）と書簡三〇八（日付と発信地は記入されていませんが、内容から推察

の修道会が創立者のカリスマを明確化したことであり、第二にイエスに対する教義的な見方から実存的・歴史的な見方へ移行したことです。それはイエス・キリストの神性よりむしろその人間性を強調したことです。これらのことを踏まえてジュリーの書簡の内容を検討するために次の三つの方法が考えられます。

(一) 第二ヴァチカン公会議の公文書を中心とする西欧側の諸文献によって検討すること。

(二) ジュリーの書簡をジュリーの覚書とフランソワーズ・ブラン著「回想録」と照合すること。

西のウイニングには、現在大学が必要としている学生のラウンジ、いくつかの講義室、セミナー室が増設される予定です。そして東ウイニングを、大学のエクステンションとして地域に開かれた社会人教育の場にしたと考えています。

同窓生の中で、母校に戻って来て、もう一度講義を受けてみたいと思っ

ていらつしやる方があれば大歓迎です。まだ建物の設計も済んでいない段階で、この原稿を書いているので、細かい運営の仕方、講座の種類、内容、時間などについて書くことはできませんが、どうぞ楽しみにしていましてください。大学内に準備委員会が結成されれば、少しずつ固まってゆくことでしょう。

地理的に、岡山駅から近く、旧学寮門（現在は東門と呼んでいます）を入っ

益法人制度改革が施行され、清心会の在り方・行く末について立ち止まって考える機会が与えられましたことは、私たちノートルダム清心女子大学の同窓生には「同窓会」という形が一番相応しいという結論を出すための、神様のお導きだったのでないでしょうか。

今年度（平成二十四年）からは、清心会の活動を引き継いだ同窓会のみでの活動となります。同窓会に対する帰属意識が希薄になっている今日、その運営のための同窓会かということを確認し、新体制のもと、良き伝統を踏まえたうえで時代にあった活動をすべく、あらたな一歩を踏み出していただければと思っています。

最後になりましたが、会長としての二年間、多くの方々に支えていただき、微力ながら母校と同窓会にご恩返しことができましたことを心より感謝いたしております。

ありがとうございました。

すると一八一四年初頭にナミュールで書かれたものです。シスター・テレズアエ）の全文がいかなる理由からか本来ならナミュール文書・資料室にあるべきものがここに収められています。ローマ文書・資料室にはその写本が保管されています。

すでに一九四〇年以前にジュリーの書簡の一部が英訳され、その複写とフランス語の書簡のいくつかの複写が世界各地の修道院に所蔵されてきました。しかしその後の修道会の発展に伴う修

(三) ジュリー以外の十九世紀を中心とする西欧の宗教家の記録を参考にして検討すること。

上記の方法を踏まえて、女子教育への熱意などの各種の例を時代を追って挙げていきます。以上の作業を通してジュリーの書簡の内容がイエスに対する実存的・歴史的な見方をどの程度まで持っていたかを明らかにすることができます。また、この研究段階においてもジュリーの文書全般の特色として教育の独自性についての若干の点を指摘することができるでしょう。

てすぐ左手、同窓会館の前、附属図書館も近く、守衛さんが常駐している恵まれた場所です。夕方からの講座も考えられ、「託児の部屋」も設けられ、地域社会の方たちのお役にも立ちたいと願っています。

「大学を卒業しても、人生のレポートを書き続けてください」という言葉で、皆さまを送り出しました。日々の歩みが記されるそのレポートは、皆さま一人ひとりの成長の記録でもなければなりません。コミュニケーション・カレッジがお役に立てば幸いです。

皆さまがグース・ステップをお踏みになって卒業なさった記念館も改築されました。同窓会からも沢山のご寄付を頂き、ステージの緞帳ができました。ありがとうございました。

マザー・ジュリーの文書研究(二)

ノートルダム清心女子大学 学長 **高木孝子**



同窓生の皆様、その後お変わりございませんでしょうか。今回から、皆様の母校の設立母体であるノートルダム修道会の創立者マザー・ジュリー・ピリアート（一七五一―一八一六）の文書から読

道院の増設と移動によって、それらの書簡の複写の多くは失われてしまったのです。このような状況の中で、創立者の精神の原点に戻って修道生活の刷新をはかる時宜を得て、書簡は出版の運びとなりました。一九七四年、フランス語の書簡とイギリス人のシスター・フランシス・ローズナーによる英訳がローマの本部で出版されました。これによって書簡の全訳がはじめて出版されることになったのです。次いで、この研究の主要な資料である『聖ジュリー・ピリアートの手紙』が、シスター・辻海松子によって邦訳されました。また、イギリス人のシスター・メリー・リン

社会人教育の場の開設について

ノートルダム清心学園 理事長 **渡辺和子**



三十五才の時、岡山に派遣された私が、今年八十五才になったということは、ちょうど半世紀、この大学にお世話になったことになりました。五十年の間には、いろいろのことがありました。でも、いつも教職員、学生、卒業生に助けられて過ごした日々でした。

赴任した時には、岡山県に僅か二校だった四年制大学が、今や十七あります。その中で、皆さんの母校は唯一の女子大であり、唯一のミッションスクールです。おかげさまで、今日まで一度の定員割れもなく、毎年、良い学生た

美しく生きる

土とともに生きて

白石正子 十六期児童(岡山在住)

児童学科一期生。美術担当の榎木先生は学内に窯を造り、楽焼を教えて下さいました。それが陶芸との出会い。その後、結婚、三児の子育ての中で、「土のそばにいたい」という思いは、死をも覚悟した病氣中でさえ、自分を支え続け、陶芸家への道を決意させてくれたそうです。

「アース&アーツスタジオ」を構え陶芸教室を主宰する傍ら、本格的な作陶に没頭する日々を送り、数々の賞に輝いておられます。女流陶芸大賞作品の「開闢」は、伊島北町の岡山中央病院ロビーに設置されています。また、空間アーティストとしてモニュメントや陶壁の製作に新境地を見出し、二〇〇二年にはニューヨークで初の個展を開催されました。そこで学んだことの一つは、人は何歳になっても新しい挑戦ができ、美しく年を重ねていくことができるということです。これからは今まで以上に枠にとらわれず、より広い空間の中で、土を核にした自由な表現をしたいと語られました。

「母校では、穏やかな清楚な時間の中で過ごし、物事の考え方を学んだことは、心の糧になっています。多くの人に支えられていることに感謝しながら希望を持って生きようと思っています」と、目を輝かせて語ってくださいました。

今年の作品展のテーマは「スーパー・ビジョン」自宅・工房・庭園いっぱい、夢のある素敵な世界が繰り広げられています。

(取材による)



寮の中で炎にまかれながら、ビードロのように変化する土の姿に衝撃を受け、魅了された学生時代。

「音訊道」に励む毎日

宮本容子 二十一期英文(北九州在住)

む面白さを知り、マイクに向かう楽しさを覚えたことに起因しています。

子どもが手を離れた二十年前、ボランティア活動で「音訊道」に出会ったことが手始めです。当初「それって何」と聞かれ、「目の不自由な人に本を読んであげるの」と答えた私でした。

いつか、理事長様がおっしゃっていた「南米訪問をした時、『地球の裏側まで来た』と言うと、現地の人々にけげんな顔をされた。日本が表というのはいり上がりで、南米からすれば日本が裏なのだ」という話を思い出したので。私は「読んであげる」のではなく、音訊の経験を重ねながら、その奥深さを学んだり、また得ることの多さを思うと「読ませて頂く」のだと思に至りました。改めて母校で大切なことを学んだと確信することができました。

現在、北九州市立点字図書館に所属しています。個人蔵書、広報誌、全国音訊ボランティア有志参加の「週刊文春」などの製作の他に、校正ボランティアと、新人養成の担当をしており、パソコン録音操作・編集・難読語の調査・図表の処理等々、多岐にわたる音訊技法の指導に明け暮れております。視覚障害者の方のお耳に少しでも良い音訊本を届ける為に、自学自習を怠らず「音訊道」に励んでいる毎日です。



私が今の活動に関わるようになったのは、大学の英文学科詩論専攻で、詩を声に出して読む

在宅医療の看護師を目ざして

柳沼啓子 三十期家政(埼玉在住)

子育てに奮闘していた三十代の頃、子育てが一段落したら何をしようかと悩んだ時期がありました。やがて高齢社会の中で確実に社会貢献できる手段として、看護師を目指すのが良いのではないかと思いついたものの、覚悟ができて実際に看護学校に入学したのは第三子が中学生になってから。私は四十歳になろうとしていました。

今、五年間の経験を経て、どうにか冷静に回りを見渡せる自分がいます。新しい知識と技術の習得には四苦八苦しましたが、看護師という仕事はそれまでの自分の人生をも全て経験という知識に置き換えられる素晴らしい職業だというのが実感です。

現在は一般病棟で脳疾患系の後遺症で寝たきりになっている患者さんの終末医療に携わっています。命の最期における人間の尊厳とは何だろうか？と、今の医療の在り方に疑問を感じることも度々で、人生の最期をどのような形で受け容れてゆくのかが、延命措置が必要なかどうか、本人も家族も元氣な内から確認し合っておくことが望ましいのではないかと思います。

母校で学んだことは、私の看護観の大きな支柱となっています。カトリックの大学教育を受けた者としてのプライドは、看護師としての私の個性の源です。

もうしばらく臨床で学んだ後は、在宅医療で家庭での看取りに関わってゆけたら…と考えています。



子育てに奮闘していた三十代の頃、子育てが一段落したら何をしようかと悩んだ時期がありました。

国語教師としてNIEに関わって

畠岡睦実 三十一期国文(岡山在住)

国語が好きだったこと、中学時代の素敵な国語の先生との出会いと、国語教師になられ、現在は県立岡山城東高校に勤務されています。

高校では、図書室や教育相談にも関わり、校外ではNIE(新聞を教育に)アドバイザーとして活躍中です。生徒の生きる力の育成を目指し、枠にとらわれず自由な発想でNIEを豊かな活動にしたいと、日々様々な研究会に参加し、研鑽に励んでいらつしやいます。その活動により、中学校、高校、大学等に講師として招かれることも多いようです。今春、NIE高校研究全国大会が岡山山の地であり、ワークショップの講師を務められ、この活動が今後のNIEが広がる大きなステップになってほしいと、熱い思いを語ってくださいました。

教師としては、教材研究が深夜におよぶことも度々のようです。生徒にとってより適した方法を工夫したつもりでも、実際には思ったようにはいかず、反省することばかりだと控えめにおっしゃっています。今年三月の卒業生から「授業の工夫が素晴らしく、ことがなかった」「先生の授業がきっかけで国語教師になりました」と嬉しいメッセージをもらい、教師冥利に尽きる思いを味わい、感動で涙したことも伺いました。大学の日本語日本文学会の国語教育部会「三時の会」に所属され「一緒に勉強なさいませんか」とおっしゃっておられます。

向上心を忘れず、「進化する明日の自分」を信じてがんばっていききたい、と前向きな姿を見せてくださいました。

(取材による)



国語が好きだったこと、中学時代の素敵な国語の先生との出会いと、国語教師になられ、現在は県立岡山城東高校に勤務されています。

平成24年度 文化講座						
講座名	講師	内容	定員	曜日・期間等	受講料(全納)	教材費
文学	ノートルダム清心女子大学名誉教授 赤羽 淑	『源氏物語』を読む。 『百人一首』を読む。	20人	5月～7月、9月～3月 月曜日(月2回) 14:00～15:30	26,000円 (1カ月/2,600円)	テキスト代
ペン習字	文部科学省後援硬筆毛筆書写検定 岡山県審査委員 岡山書写教育研究会師範 田中 慎子 (更 愁)	文部科学省後援硬筆書写検定3級、2級、1級の合格を目指して公的資格を取得する。及び実用書の練習を通して文字の上達を目指して書の文化にも触れる。書作品にも挑戦して生活を楽しむ。	各クラス 10人	5月～7月、10月～1月 ①毎週水曜日13:30～14:40 ②毎週水曜日15:00～16:10	18,200円 (1カ月/2,600円)	テキスト代他・初回 (3,500円～3,800円)
きもの着付け	むつみ京都総合学院学院長 吉井 睦美	ゆかたから留袖まで自分で着られるようになる。和の文化についても学べるし、マナーも身につけることが出来る。人に着せ付けることも可能。講師の資格も取得できる。	各クラス 20人	5月～7月、10月～2月 ①毎週金曜日10:00～12:00 ②毎週金曜日13:30～15:30	24,800円 (1カ月/3,100円)	テキスト代・初回 (3,940円税込)
謡曲・仕舞(観世流)	日本能楽会会員 京都観世会副会長 職分 林喜右衛門師	能楽の台本である謡を通し、日本の文化・歴史を知り、仕舞を通して舞を学ぶ。	10人	月2回(原則火曜日) 9:30～16:30 稽古所要時間は1科目 20～30分	謡曲のみ(1カ月) 一般5,000円 学生3,000円 謡曲と仕舞(1カ月) 一般8,000円 学生5,000円	謡本[初心本・5曲入り] (3,780円)、 扇(4,000円)
生け花(小原流)	二級家元 教授 菊井 優子	花に触れ、花を活け、花を飾る、その行為の中で素直に感動する柔らかな心を育ててゆく。	10人	5月～7月、10月～2月 第1・3木曜日 13:00～15:00	20,000円 (1カ月/2,500円)	花代・1回 (800円)

※5月開講ですが、申し込みは随時受け付けます。
申し込み、問い合わせ ノートルダム清心女子大学同窓会
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL(086)253-8496

平成24年度 奨学生支援バザー

- 日時・場所・10月14日(日)13:00～15:00 (ホームカミングデー)カリタスホール
- 11月4日(日)10:00～14:00 (大学祭協賛)ジュリーホール ラウンジ
- 内 容・手作り品の販売他
・喫茶コーナー(大学祭当日)
- お 願 い・手作り品、タオル、シーツ、日用品、食料品など新しいものをご提供ください。
受付期間：7月1日～10月末日(同窓会事務局まで)
- ・奨学生支援の寄付金も随時受け付けています。同封の振込用紙をご利用ください。

ボランティア募集中です

エンジェル会の活動(旭川荘でのボランティア)

- 療育園 第3・第4土曜日(10:00～12:00)
子どもたちの話相手、絵本の読み聞かせ、学習、散歩、おやつ作り、外出等諸行事(お祭り等)への参加
- 睦学園 第1金曜日(9:30～10:30)
第1・第3火曜日(10:00～11:00)
レクリエーション、散歩、買物等の車椅子介助
- 児童院 第3・第4火曜日(12:00～14:00)
衣類の修繕、簡単な裁縫(上手下手は関係ありません)おしめたみ

ゆめ文庫の活動

- 日 時 第2・第4木曜日 10:00～16:00
- 場 所 ルルド館 第二会議室(2F)
- 内 容 ①点訳絵本の作製と貸し出し(一般の方・岡山盲学校小学部の方)
②点訳絵本蔵書目録の作成
③「会報」の点訳(パソコン)

フリージアの会の活動

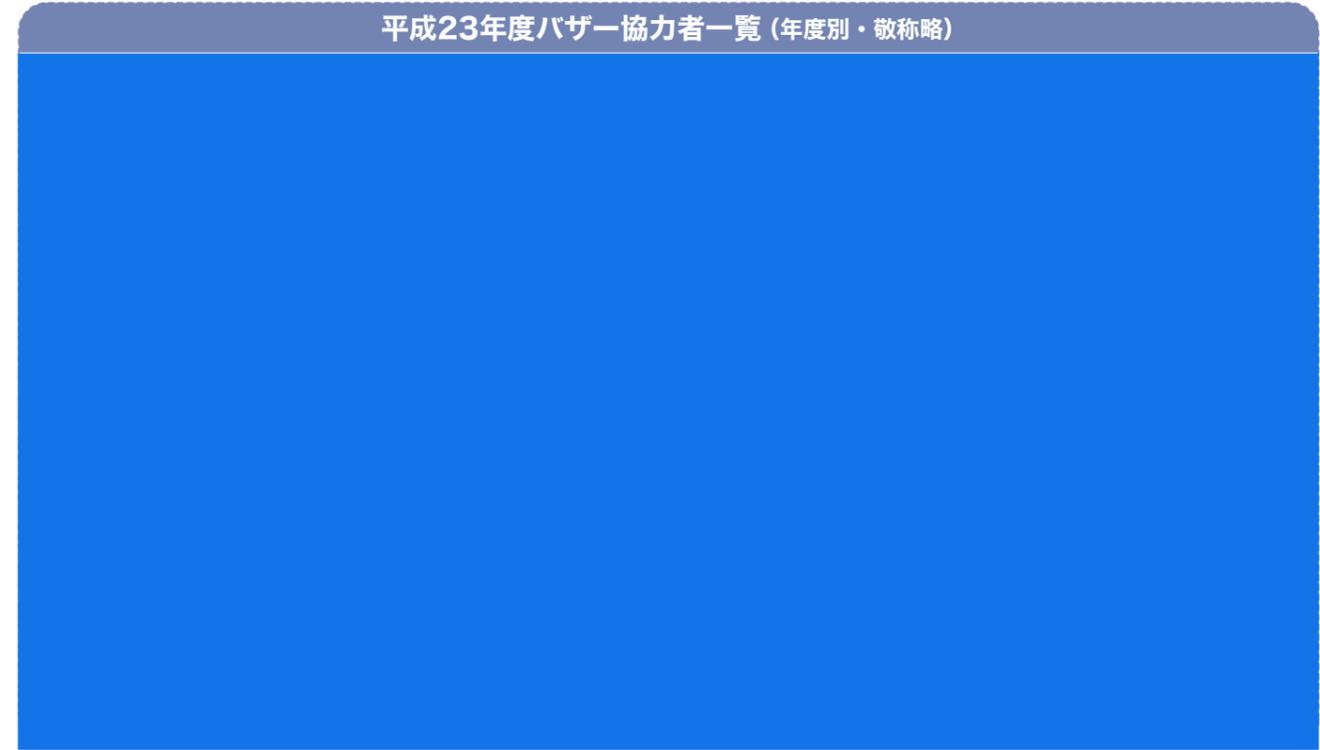
- 日 時 第2火曜日・第4土曜日
10:00～14:30(ご都合のいい時間にどうぞ)
- 場 所 ルルド館 第一会議室

奨学生支援バザー

平成二十三年度「奨学生支援バザー」は、ホームカミングデーと大学祭に開催しました。初めての試みでしたが盛況のうちに終えることができました。九月十八日(日)のホームカミングデーでバザーを開催。フリージアの会の皆様の手づくり作品を販売し、たくさんのお客さんの皆様にご購入いただきました。また、大学祭協賛バザーでは十一月六日(日)、一日限りの開催とし、全国の同窓生からお贈りいただいた手作り品や遊休品、フリージアの会の作品、福祉の会の手づくりクッキー販売、喫茶を行いました。全国の同窓生の皆様の心温まるご支援に感謝申し上げます。引き続き奨学生支援バザーへのご協力をよろしくお願いいたします。



平成23年度バザー協力者一覧 (年度別・敬称略)



マナー講座

学生支援の一環として、毎年開講しているマナー講座。本年度は平成二十三年十月十九日、毎年好評を得ている本学卒業生(十四期・国文)吉井睦美先生を講師にお招きし、「就職活動の心得、スキル、ビュートイー」と題してお話をいただきました。全日本作法会家督・吉井先生は、後輩達に温かい眼差しで熱くご指導くださいました。

講座の対象は三年生と四年生。就職という言葉に漫然と不安を抱いている三年生、就職が決まっているが社会人となる前にマナー力アップの為に参加、とそれぞれ思いで、先生の講義を熱心に受講している様子でした。

マナー講座を受け、社会生活や日常生活において、コミュニケーションが円滑になり、よりキラリと光るノートルダム清心女子大学生・卒業生となれることと思います。大変好評だったマナー講座を、これからも充実させていきたいと考えております。



奨学金事業

◆平成二十三年度奨学生指導・報告会◆

奨学金委員会では、平成二十三年五月二十一日と十一月二十六日の二回、平成二十三年度奨学生に対し、指導・報告会を行いました。

一回目には、奨学生は緊張した面持ちの中、自分の夢や目標について決意を発表。二回目は、奨学生として半年が経ち、実習や経験を通して感じたことを、目を輝かせながら語っていました。なごやかな雰囲気の中、成長を感じられる指導・報告会となりました。

◆新たに六名の奨学生を決定◆

平成二十三年十二月十日に選考会を開き、厳正な審査の結果、六名の奨学生を選出しました。

平成24年度 ノートルダム清心女子大学同窓会奨学生 2012年4月現在



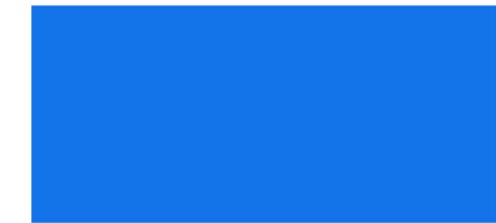
平成23年度 同窓会奨励賞

次の方々に、同窓会から奨励賞を贈りました。

団体

- 囲碁同好会 (中四国囲碁選手権大会ペア碁 優勝)
- 美術部 (毎年奉還町で「りぶら展」を開催)
- 弓道部 (中四国学生弓道選手権大会 2位)
- バレエ部 (中国春季リーグ 準優勝)

個人



公務員・教員採用試験対策学内講座

本年度の受講者数は次の通りです。

- 公務員試験対策学内講座 58名
- 教員採用試験対策学内講座 48名

パソコン資格取得講座

平成二十三年度より、次の講座を開講いたしました。

Microsoft Office Specialist (MOS) 資格対策講座	
Word 通年	104名
Word 半期	63名
Excel 通年	234名
Excel 半期	24名
PowerPoint	13名
合計	438名 受講!

支部だより



■平成二十三年度 支部長会報告

平成二十四年二月十八日(土)ノートルダムホール中央棟八階会議室において、平成二十三年度の支部長会を開催しました。今年は、全国九支部からお集まりいただきました。各支部の様子を伺うことができ、同窓生としての絆を深め、和やかな会となりました。



●北海道ユリア会

北海道ユリア会代表 小池裕子
平成二十三年九月五日に総会・懇親会を開催致しました。少人数の集まりでしたが、和気あいあいとした時間を過ごしました。懇親会では、会員の方が所属されている「おはなしの会」の皆様による「語りによるお話」で、会に花を添えて戴きました。母校の絆を改めて感じる一日でした。今後とも心温まる会作りに努めたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。



●東京支部

東京支部長 小林直子
昨年の東日本大震災に際しましては、皆様から温かいお言葉をいただき心より感謝申し上げます。幸い、津波の被害の大きかった地域にお住まいの皆様も、ご無事が確認できました事、この場をお借りしてご報告申し上げます。
東京支部では、昨年九月十一日にロイヤルパークホテルにて第二十一

●東海支部

東海支部長 安田典子
平成二十三年十月二十三日(日)ホテルサンルート名古屋において、第十四回東海支部総会・懇親会を開催いたしました。渡辺理事長、高木学長、かつて英文学科でお世話になった小田朗美先生のご臨席をいただき、アットホームな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことが出来ました。
渡辺理事長には、「どんな状況におかれても、笑顔忘れず内面の美し



回東京支部総会及び懇親会を開催いたしました。渡辺理事長、高木学長、菊永先生、今田先生、ナミユール修道院より金光院長、本部より西室会長、実光理事をお迎えし、同窓生一四三名が集い、笑い声の絶えないアットホームな温かい同窓会となりました。また、会場に募金箱を設置し、会費の一部と合わせて十万円を義援金に寄付させていただきました。

●京阪神支部

京阪神支部長 原山裕子
二年に一度開催しております支部総会・懇親会を、今年八月二十六日(日)ホテルグランヴィア京都にて開催いたします。京阪神支部同窓生の皆様にはご案内状を発送いたしました。
渡辺理事長、高木学長、菊永先生、藤勝先生にご



「女性になりました」と、ユーモアを交えながら貴重なご講話をいただき、高木学長には、現在の母校の発展した様子を伺いました。笑顔があふれ、穏やかで心を洗われるようなひと時でした。

●鳥取支部

鳥取支部長 三輪洋子
昨年十一月、倉吉にて、一昨年に続き、渡辺理事長をお迎えして、同窓会を開催いたしました。いつもより多くの新会員さんの参加があり、華やいだ中、和やかな楽しい一時を共有することができました。後日、参加者の方々から数々の嬉しいお便りをいただきました。「勇気やパワーをいただいた」「皆が若々しく生き生きとして輝いていた。目標にさせてもらいたい」「今居る場所で頑張る新たなエネルギーがいただけた」等々。今年度も又、皆様にお会いできますように。感謝。



●岡山県支部

岡山県支部長 池上淑恵
はじめまして支部長の池上淑恵(二十三期・国文)です。前支部長同様支部活動にご協力よろしくお願いいたします。
さて今秋第十五回ノートルダムトロフィー・English Speech Contestを九月三十日(日)に開催いたします。高校生が熱心に練習を重ねた素晴らしいスピーチを同窓生の皆様も聞きにいらして下さればと思います。又今年度は平成二十五年に開催予定の発会十五周年記念総会の準備の年ととらえています。そして地域の少人数の同窓会「地域花みずき会」も多くの場所での開催を目指します。皆様にご案内が届きましたら是非ご参加いただければ幸いです。



●四国支部

四国支部長 河原陽子
四国在住の会員の皆様に、支部活動をより身近に感じていただくことと企画した会報誌「よつば通信」も、この度

●広島支部

広島支部長 吉原文音
広島支部では、今年七月に総会・懇親会を開きます。目下、案内状の作成、会場の視察、交渉などの準備に追われています。



H22年の支部総会のひとこま

●九州支部

九州支部長 橋口佳世子
九州支部は、六人のスタッフで支部総会・懇親会の準備に取り組んでいます。二月二日雪の舞う日に、打ち合わせをいたしました。
総会は、七月二十九日(日)リーガロイヤルホテル小倉にて開催いたします。場所は小倉駅新幹線口から徒歩一分の所にあります。昨年の九州新幹線全線開業により、ずいぶん便利になりました。たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。微笑みあふれる会となりますように。



支部名	日時	場所	招待者(敬称略)	支部長	連絡先
*東京支部				小林直子	
京阪神支部	8月26日(日) 11:00~14:00	ホテルグランヴィア京都	渡辺理事長・高木学長 菊永茂司・藤勝福子	原山裕子	
九州支部	7月29日(日) 11:00~14:00	リーガロイヤルホテル小倉	渡辺理事長・高木学長 濱野恵一	橋口佳世子	
広島支部	7月1日(日) 11:00~15:00	ホテルグランヴィア広島	渡辺理事長・高木学長 藤勝福子	吉原文音	
*東海支部				安田典子	
四国支部	9月23日(日) 11:00~14:00	JRホテルクレメント高松	渡辺理事長・高木学長 榎並英子	河原陽子	
*北海道ユリア会				小池裕子	
*岡山県支部				池上淑恵	
鳥取支部	9月2日(日) 18:00~20:00	ホテルニューオオタニ鳥取	渡辺理事長	三輪洋子	

*の支部は、平成25年度に支部総会を開催する予定です。

★支部会費納入のお願い★

同窓生は、同窓会会則第2章第7条「会員は、すべていずれかの支部に所属するものとする。」により、必ずいずれかの支部に所属することになっております(※どの支部に所属しているかは、同窓会支部規程をご覧ください)。支部会費の納入をよろしくお願いいたします。

平成二十四年度同窓会代議員総会

- 平成二十四年度同窓会代議員総会は、平成二十四年五月二十六日(土)、東京支部、京阪神支部、九州支部、広島支部、東海支部、四国支部、岡山支部、鳥取支部の支部長の参加で開催されました。出席者十六名、委任状出席二百六十九名により、提出議案はすべて承認されました。
- 第一号議案**
平成二十三年度事業報告及び収支決算承認の件
- 第二号議案**
平成二十四年度事業計画及び収支予算承認の件
- 第三号議案**
同窓会会則の変更承認の件
- 第四号議案**
次期役員選任承認の件



監査報告

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの平成23年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

- 1 監査の方法の概要
- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
 - (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- 2 監査意見
- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、会の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

以上
平成24年4月26日

ノートルダム清心女子大学同窓会
監査委員 高橋みどり
監査委員 横溝宏美
監査委員 田中恵子

清心会の解散及び清算終了について

社団法人教育振興ノートルダム清心会は、昨年五月二十八日の代議員総会における解散承認後、岡山県教育委員会に「解散及び残余財産の処分許可申請書」を提出し、七月十五日の解散許可を受け、七月十九日付にて「解散登記」を行いました。

その後、清算業務を行ってりましたが、十月二十七日付で「清算終了登記」をし、最終的に十一月十四日に岡山県教育委員会に「清算終了届」を提出して、すべての業務を終了いたしました。

なお、残余財産は、定款に則りすべて学校法人ノートルダム清心学園(ノートルダム清心女子大学)に寄附させていただきました。

清心会の設立・運営等に携わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。



平成二十四・二十五年度役員名簿

*理事	大14期・家政	世子	佳子
理事	大15期・国文	○実光	佳子
理事	大15期・家政	井丹	保子
*理事	大21期・国文	伊横	江子
*理事	大21期・家政	横内	泰子
理事	大24期・英文	佐藤	優子
理事	大24期・家政	井口	京子
*理事	大24期・家政	樋口	純子
理事	大24期・児童	◎横久	洋子
理事	大26期・英文	◎横山	美智子
*理事	大26期・食品	佐藤	千恵子
*理事	大28期・国文	○甲斐	好子
*理事	大31期・家政	○福田	千代子
理事	大31期・家政	森川	千みどり
*理事	大33期・家政	高橋	みどり
監査委員	大20期・英文	高橋	宏美
監査委員	大28期・国文	横溝	宏美
監査委員	大35期・家政	田中	恵子

(*印は新役員 ◎は会長 ○は副会長)

マレーシア奉仕団の解散について

学務部国際交流主任 梶谷二郎

このことについては、一九八〇年より約三十年間派遣して参りましたマレーシア奉仕団ですが、二〇一〇年度をもって解散する運びとなりましたのでご報告いたします。解散の理由の一つとして、近年奉仕団に申し込みをする学生数が減少したことがあげられます。

同窓会におかれましては、奉仕団を派遣することに施設への寄付金を賜り心より感謝いたしております。

歴史ある奉仕団がここで解散するのは誠に残念ではございますが、今後は時代の新たな要請に出来るべく精進して参ります。末筆ではございますが、長年のご協力に重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

大学のページ

入試広報部より

●2012年度 オープンキャンパス日程

- 高松オープンキャンパス
2012年7月7日(土) 13:00～16:00
- 夏のオープンキャンパス
2012年8月4日(土)・8月5日(日) 12:30～16:30
- 秋のオープンキャンパス
2012年10月7日(日) 12:30～16:00
- 春のオープンキャンパス
2013年3月24日(日) 13:00～16:00

詳しくは、ホームページをご覧ください。

入試広報部 TEL:086-255-5585(直通)
URL: http://www.ndsu.ac.jp/

ありがとうございました —この春ご退職の先生方—

- 文学部教授 足立 萬壽子 先生
- 文学部教授 片岡 智子 先生
- 人間生活学部准教授 阪本 恭子 先生
- 文学部講師 スティーブン シュレイダー 先生
- 文学部講師 アレクシ ブシーナ 先生

資料情報をお知らせください

同窓会の皆様には平素から資料情報のご提供をいただきありがとうございます。お陰をもちまして、貴重な資料の情報が徐々に集まってきております。

本年度は主に下記の資料を探しています。お持ちの方がいらっしゃいましたら、ご連絡をいただければ幸いです。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。



1957年5月に行われたイングリッシュデー

- 女専時代、開学から1970年頃までの資料
- 写真、行事のプログラム、時間割、テキスト、入学案内など

資料編集室

TEL 086-252-3107 FAX 086-252-7035
E-mail: archives@pluto.ndsu.ac.jp

※お電話でのご連絡は月～金 9時～16時半(祝・本学休業日を除く)にお願いいたします。

第22回 生と死を考えるセミナー

「岡山・生と死を考える会」によるセミナーが、2012年6月17日(日)岡山市民会館で、開催されました。

テーマ 現代・生・死

- 第1部 「いのちの歌を響かせて」ソプラノ歌手 村上彩子氏
- 第2部 講演「今、いのちを考える —3.11大震災の後で—」
講師 柳田邦男氏

ノートルダム清心女子大学公開講座

A. 社会人講座 X (前期講座) 時間:1:30～4:00p.m.
教室:630ND 定員:150名

【災害から学ぶ—震災列島に生きる知恵—】

- ① 6月2日(土)
災害の記憶と認識 本学日本語日本文学科講師 木下 華子
—鴨長明「方丈記」から
江戸の大災害と救済 本学現代社会学科准教授 藤 實久美子
- ② 6月9日(土)
風評被害にみる現代の社会心理 本学現代社会学科講師 中山ちなみ
災害時の人間行動 本学児童学科教授 稲 森 義 雄
- ③ 6月23日(土)
危機管理と日本のまちづくり 本学人間生活学科教授 上田 恭 嗣
岡山県の防災体制 岡山県庁危機管理課
- ④ 7月21日(土)
自立支援のボランティア活動 本学人間生活学科講師 高尾 肇
科学的サバイバル術 本学情報理学研究所教授 保江 邦 夫
- ⑤ 7月28日(土)
がんばっぺ 東北! 宮城県多賀城市社会福祉協議会会長 飯田 典 美
—東日本大震災復興への絆—

B. 考古学の世界 II (後期講座) 時間:1:30～3:30p.m.
教室:630ND 定員:150名

【カッパドギアにおける古代都市の発見

—トルコ共和国カイセリ県における考古学調査—】

- ① 10月13日 ② 10月27日 ③ 11月10日 (①～③すべて土曜日)
- 本学現代社会学科准教授 紺 谷 亮 一

C. 実技講座 XI (後期講座) 時間:1:30～4:00p.m.
教室:美術室(814C) 定員:16名

【石膏デッサンを楽しむ】

- ①10月6日 ②10月13日 ③10月20日
 - ④10月27日 ⑤11月10日 (①～⑤すべて土曜日)
- 本学児童学科教授 片山 裕 之

D. 聖書の世界 XX (後期講座) 時間:1:30～3:30p.m.
教室:630ND 定員:150名

【生と死をめぐる文化論】

- ①10月6日(土)
死生観が問われるとき 東京大学大学院教授 島 蘭 進
- ②11月17日(土)
日本人の世界観 本学現代社会学科教授 小 嶋 博 巳
- ③12月1日(土)
生と死 —震災との関わりの中で— カトリック大阪大司教区事務局長 神 田 裕

申し込み・お問い合わせ

ノートルダム清心女子大学「公開講座委員会」

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9
TEL 086-252-2751 (平日8:30～16:30)
FAX 086-252-5042
ホームページ http://www.ndsu.ac.jp E-mail: opc@post.ndsu.ac.jp

部屋の名称	収容人数	使 用 料			
		(会議・会合等) 4時間以内		宿泊(1泊・1名) 16時～翌日9時	
		①	②	①	②
1F 第1会議室	25人	3,000円	4,000円		
第2会議室	14人	1,500円	2,000円		
2F う め(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
かえで(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
備 考		超 過 料 金 (1時間につき各料金の2割増し)		寝具はリース(実費負担)	



銘板をリニューアル
社団法人教育振興ノートルダム清心の解散に伴い、ルルド館の入口に掛けられている銘板を「ノートルダム清心女子大学 同窓会」に変更いたしました。

東日本大震災義援金
この度、震災義援金として役立ててほしいと、渡辺理事長のご著書の売上金、東海支部、有志の方からのお申し出がありました。ホームカミングデーでの義援金とあわせて二十万円を三月二十八日に「あしなが東日本大地震・津波遺児募金」に寄附させて頂きました。
ご協力くださった皆さま、あたたかいお志、ありがとうございました。

住所等に変更があった場合は、すみやかにハガキ・FAX・Eメールで同窓会事務局までご連絡ください。

住所変更届けのお願い

同窓会館利用のしおり

- 使用できる人
① 学生・同窓生・岡山清心女子大学専門学校のノートルダム清心女子大学現旧教職員(客員)及びその家族
② 付属校、姉妹校関係者及びその家族・同窓会理事会が承認した者
- 使用目的
会合・研修・宿泊
- 休館日
日曜日・国民の祝日・創立記念日・ブレジデンツデー・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

大学の記念館(写真下)が新築され、平成24年2月27日に落成式を終えました。この記念館のステージに使用する緞帳(写真上)を、同窓会から贈呈いたしました。



寄贈ノートルダム清心女子大学同窓会

ホームカミングデーのご案内

平成24年度 ホームカミングデーを下記の日程で開催いたします。
お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

記

- 日 時：平成24年10月14日(日) 10:30～15:00[受付10:00から]
- 場 所：ノートルダム清心女子大学 カリタスホール
- 内 容：10:30～12:00 生涯教育講座 講師：社会福祉法人 旭川荘 名誉理事長 江草 安彦 先生
演 題：「家族の役割」
12:30～ 同窓生の集い・会食
・ソプラノ独奏 (43期・児童 三宅 祐子)
- 参加費：3,000円(昼食代含む)
- 締 切：9月7日(金)振り込み分まで
- 申し込み方法：同封の振り込み用紙をご利用ください。
(振り込み確認で受付完了となります。チケットの発行はいたしません。)
※ 午前中の生涯教育講座は、一般の方のご参加も歓迎いたします。(無料)
お友だちをお誘いの上、ご参加下さい。(お申込みは、同窓会事務局まで)
※ バザー一部員による手作り品の販売もいたします。
- 注 意 事 項：駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



カリタスホール

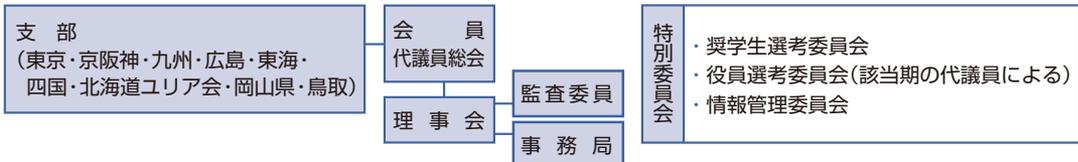
お問い合わせ ノートルダム清心女子大学同窓会
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL&FAX (086)253-8496 E-mail: rurudo@theia.ocn.ne.jp

● 題字 ● 表紙

高木聖鶴
ノートルダムホール東棟聖堂

ノートルダムホール東棟の中心にある聖堂です。一九二九(昭和四年)、建築家アントニン・レーモンドの設計により、建築されました。戦時下には修道院の塔から十字架を取り除くよう要請されましたが、十字架に覆いを掛けることで同意を得たということが伝えられています。二〇〇七年七月、国の登録有形文化財として登録されました。

組 織 図



分 掌

講 座		奨学金事業	ボランティア	ホームカミング	広 報	総 務
文化講座 ・生け花	学生支援講座 ・マナー講座 ・パソコン講座 ・公務員教員採用 試験対策内講座	・奨学生選考・指導 ・奨学生支援事業	・ゆめ文庫 ・エンジェル会 ・フリージアの会	・ホームカミングデー ・生涯教育	・会報 ・刊行物 ・ホームページ	・財産管理 ・会計 ・会館管理 ・会議・書記 ・支部総括 ・特別委員会

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。

(情報収集と使用目的)

個人情報の収集は、本会の必要な範囲に限定し、使用目的を明確にする。

- ノートルダム清心女子大学同窓会からの連絡送付
- 同窓会・各支部・各部会の活動支援
- 会員確認調査
- 会員名簿の作成

の目的範囲を超えて使用及び提供はしない。
(会員からの申請)
会員は、本人の個人情報の開示・訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。

編集後記

会報48号をお届けします。同窓生の皆様が所属されている九つの支部をマップにしました。そして「支部の今」を伝えて頂きました。会報を通して、学生時代を思い出し、同窓会・母校へ関心を持って下さることを願っています。ホームカミングデーや大学祭など、気軽にお出掛け下さい。懐かしい御聖堂やいちよう並木、美しい花園。吹きぬける風の中、すれ違う学生に、あの頃の自分を見つけれられるかもしれません。
どうぞお読み下さって、ご意見・感想などお寄せ下さい。

会報編集委員

- 十五期・国 文 実光 詔子
- 二十一期・家 政 亀山 和美
- 二十二期・国 文 伊丹三保子
- 二十四期・英 文 永瀬ひさ乃
- 二十六期・英 文 横溝 洋子